

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		債権・基金管理事務			担当課	財政課	担当係	財政係	管理番号	2712	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち			事業区分	■ 自治事務		□ 法定受託事務		
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり				根拠法令 個別計画等	地方財政法、深谷市減債基金条例、深谷市公共施設整備基金条例、深谷市財政調整基金条例、深谷市まちづくり振興基金条例			
	小項目	3	行財政運営の推進								
	主要プロジェクト	0	(未使用)								
事業概要		将来にわたる市財政の健全な運営に資するため、各債権および基金の積立等基金管理をすることによって、計画的かつ継続的な財政運営につなげるものである。									
目的 ※何のために		将来にわたる市財政の健全な運営に資するため									
対象 ※誰・何を対象に		各債権および基金									
手段 ※どのように		積立等の基金管理を行う。									
成果 ※何を求めるか		計画的かつ継続的な財政運営につなげる。									
執行体制		■職員 □一部委託 □全部委託 □指定管理 □市民ボランティア □NPO等 □その他()									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名			前年度決算額(円)		
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	5	財産管理費	公共施設整備基金積立金	10,920,696	
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	7	企画費	まちづくり振興基金積立金	97,818,095	
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	17	財政調整基金費	財政調整基金積立金	1,616,641,849	
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	18	減債基金費	減債基金積立金	3,544,649	
本事業の 主な業務		・公共施設整備基金管理						・			
		・財政調整基金管理						・			
		・減債基金管理						・			
		・まちづくり振興基金管理						・			
		・						・			
・						・					

2. 事業費(投入コスト)

単位:円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
年度別計画		基金の積立て	基金の積立て	基金の積立て	基金の積立て	基金の積立て	基金の積立て	
事業費	予算(現額)	3,042,540,000	1,175,616,000	1,240,468,000	1,595,645,000	1,728,927,000	3,892,344,000	
	決算額	3,042,537,645	1,175,524,838	1,240,466,294	1,595,641,664	1,728,925,289	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	68,716,645	60,726,000	135,370,000	130,917,664	141,623,289	158,956,000
一般財源	2,973,821,000	1,114,798,838	1,105,096,294	1,464,724,000	1,587,302,000	3,733,388,000		
人件費	従事職員数(人)	0.31	0.30	0.45	0.38	0.38	0.33	
	人件費相当試算※	2,411,490	2,334,600	3,537,450	3,091,680	2,949,528	2,683,345	
総事業費試算		3,044,949,135	1,177,859,438	1,244,003,744	1,598,733,344	1,731,874,817	3,895,027,345	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	減債基金積立	目標値	百万円	5.74	3.49	3.34	2.67	2.68	2.84
		実績値		5.91	3.7	4.31	3.21	3.54	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		基金を確実に効率的に運用し、運用益等を積み立てる。/目標値=当初予算・実績値=決算						
実績値の算出式									
活動指標 2	財政調整基金積立	目標値	百万円	19.71	20.5	19.95	19.96	18.03	20.95
		実績値		2042.49	583.95	583.83	1489.07	1616.64	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		基金を確実に効率的に運用し、運用益等を積み立てる。 / 目標値=当初予算・実績値=決算						
実績値の算出式									
成果指標 1	減債基金残高	目標値	百万円	1669.21	1672.88	1676.43	1679.94	1683.3	1687.01
		実績値		1669.39	1673.09	1677.4	1680.61	1684.16	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度末基金残高+当該年度当初積立予算額-当該年度当初取崩予算額。 / 目標値=当初予算・実績値=決算						
実績値の算出式									
成果指標 2	財政調整基金残高	目標値	百万円	9003.29	9978.88	10404.49	9834.2	9121.87	11609.77
		実績値		11804.15	12268.6	11266.77	12323.49	13317.94	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度末基金残高+当該年度当初積立予算額-当該年度当初取崩予算額。 / 目標値=当初予算・実績値=決算						
実績値の算出式									
成果指標 3	全体基金残高	目標値	百万円	19208.5	20994.21	21453.06	21176.52	20767.46	22530.48
		実績値		23024.46	23846.99	23404.04	24329.1	25116.1	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度末基金残高+当該年度当初積立予算額-当該年度当初取崩予算額。 / 目標値=当初予算・実績値=決算						
実績値の算出式									
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA~Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	地方財政法では、決算剰余金の1/2以上を積立等することとされている。令和元年度までは財政調整基金と公共施設整備基金に1/4ずつ積立を行っていたが、新型コロナウイルス感染症に係る財源対策として多額の財政調整基金の繰入を行っていたことに鑑み、財政調整基金のみに1/2の積立を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	歳入面では、市税の回復や国の補正予算に伴う地方交付税の増額があった。歳出面では、行政評価に基づく効率的・効果的な事業実施に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策については、国・県補助金を最大限活用して実施する等、必要な財源対策を講じた結果、基金残高は堅調に推移した。今後の感染症や災害等の緊急的な財政需要に備え、今後も適切な管理に努める。
			評価者 財政課 財政係長 堀口浩正

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	新型コロナウイルス感染症への対応等、様々な財政需要に対して速やかに対策を講じるため、財政調整基金の繰入により財源対策を講じ必要な事業を実施した。また、財政計画上の基金残高を踏まえ、決算剰余金の一部を積み立てる等、効率的な基金管理に努めた。
			評価者 財政課 財政係長 堀口浩正

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	債権・基金管理事務	担当課	財政課	担当係	財政係	管理番号	2712
<input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入) <input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続 <input type="checkbox"/> ③見直して継続 <input type="checkbox"/> ④目的達成による終了 <input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討		<input type="checkbox"/> 委託化等の検討 <input type="checkbox"/> 成果向上のための改善 <input type="checkbox"/> 効率化のための改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の縮小 <input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合		評価の内容説明 財政状況は、人口減少・少子高齢化の進展に伴い、歳入面では市税の減少、歳出面では扶助費の増加傾向にある。 このような中、必要な市民サービス提供の財源として、基金の適切な管理が一層重要である。 引き続き、中長期的な視点に立ち計画的かつ有効的な活用に努め、持続可能な財政運営に繋げていく。			
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 財政課長 及川勝隆					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

